

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表（令和元年度）

令和2年3月28日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	70	30	0	静養室、学習室とみんなで過ごす共同のスペースとで相互に配慮し、活動が重複しないようにしている
	2	職員の配置数は適切であるか	100	0	0	支援に支障をきたすことがないように職員の数を多めに配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	40	60	一般の家屋を利用しているが、現在利用している子ども達には不便がないと思われる
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	60	40	0	毎日のミーティングや内部研修で行われているOJTを実施している
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	50	40	10	アンケート調査の他、送迎の際の連絡や連絡ノートを活用している
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	60	40	0	ホームページ上にて公開されている
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	100	今後検討していきたい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100	0	0	全体会議の際に内部研修を実施したり、外部の研修に参加している職員もいる
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	70	30	0	毎回の記録の検証をしつつ、家族の意向を計画に反映させている 半年ごとの面談を行い、ニーズの把握に努めている
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	80	20	0	地域で統一された情報シートを使用している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	70	30	0	全スタッフでアイデアを出してもらっているそれを元に作成している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	60	40	0	子どものニーズや訓練、学習、遊びなど幅広く取り入れている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	90	10	0	利用時間の長短に配慮して学習したり、外出している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	80	20	0	子ども一人ひとりの課題やニーズを組み合わせ作成されている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100	0	0	支援開始前のミーティングにて実施されている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	50	40	10	翌日のミーティングにて振り返りを行っている
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	80	20	0	気がついた事や変化を細かく記録し、検証につなげている	

適切な支援の提供	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	90	10	0	毎月個別支援検討会議を行っており、計画に反映させている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	50	50	0	検証とまではいかないが、ガイドラインを意識して実施している
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	80	20	0	子ども一人ひとりに担当者を配置し参画している
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100	0	0	学校の先生からの申し送りをしていたり、当事業所から学校への情報提供を行い、連携に配慮している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	—	現在該当者なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	60	40	0	十分とは言えないが、情報共有と連携に努めている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	80	20	0	就労支援事業所への就職に向け、情報の共有を行った
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	50	50	0	必要に応じて今後実施したい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	80	20	0	職員の子どもが遊びに来て一緒に活動する機会がある
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	90	10	0	放課後等デイサービスの連絡会への参加をしている
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	90	10	0	送迎時、お迎え時に保護者に対して丁寧に報告するよう心掛け、なおかつ連絡ノートでのやりとりをしている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	10	90	0	ファイン主催の具体的なペアレントトレーニングは行っていない
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	90	10	0	契約時に丁寧に説明するよう心掛けている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	93	7	0	プラン説明時の他、必要であれば随時面談を行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	30	70	0	保護者会はないが、保護者参加の行事で交流している

保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	80	20	0	速やかに対応するよう心掛けており、苦情受けの体制を整備している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100	0	0	毎月、通信を発行している
	35	個人情報に十分注意しているか	90	10	0	同意書を取り交わすなど十分注意して行っている
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	80	20	0	文字や写真、絵カードなどで分かりやすくしている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	50	30	20	行事やイベント時に契約利用のない子どもも参加している
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	80	20	0	保護者には契約時に説明しており、職員は研修等でマニュアルの確認をしている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100	0	0	定期的に避難訓練等を行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100	0	0	内部研修を行っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	—	—	—	現在該当なし
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	—	—	—	現在該当なし ※医師の指示書のある利用児童はいないが、利用前にアレルギー等をお聞きしている
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	90	10	0	ヒヤリハットを記入し、職員で分析、予防に努めている	